

“平和への道はない 平和こそが道なのです”

“憲法9条はいかなる核兵器や軍隊よりも強力です”

“世界平和はこの部屋から 私たち一人一人から始まります”



アレン・ネルソン

9条を抱きしめて
～元米海兵隊員が語る戦争の真実～

インタビュー
森山 良子

写真提供：アレン・ネルソン
アレン・ネルソン平和プロジェクト

ドキュメンタリー映画

アレン・ネルソン



ストーリー

真の戦争とは、平和とは何かを語り続けた、アレン・ネルソンさん。ベトナム戦争に従軍した元アメリカ海兵隊員です。帰還後、過酷な戦場体験によるPTSD（心的外傷後ストレス障害）に苦しめられたアレンさんは、18年に及ぶ治療の末立ち直ります。

沖縄での米兵による少女暴行事件をきっかけに、1996年から日本での講演活動を開始。その数は13年間でのべ1200回を数えました。アレンさんが日本での講演に力を入れた最大の理由は、憲法9条との出会い。9条に平和への希望を見出しました。

アレンさんは、2009年にベトナム戦争で浴びた枯葉剤が原因とみられる血液のガンで亡くなります。62歳でした。戦争に苦しめられた彼は、最後まで戦争が原因で命を落とすことになります。

アレンさんが亡くなった後も世界で戦火が絶えることはありません。戦争という殺戮に関わった一人として、アレンさんは、命が尽きるまで戦争や暴力の恐ろしさを訴え、人間が平和に生きていくための道筋を優しくも力強く示し続けました。

2025年製作（75分）



森山良子さんからのメッセージ

戦後80年。今、日本自体が戦争というものの肌感がなくなってきている中、とてもショッキングな映画だと思いました。敵味方ではなく、地球上に授かった一人一人の大切な命が無残に奪われていくことに、常に悲しみと怒りを感じています。たくさんの若い方たちに、どれほど戦争が残酷な現実をはらんでいるかを観ていただきたい。

監督・阿部裕一

1958年生まれ。読売テレビ在職中、沖縄戦の悲劇を描いた『戦場の子供たち』や原爆をテーマにした『かあさんと呼びたい』『5000人のカルテ』など多数のドキュメンタリー番組を制作。放送文化基金賞優秀賞、関西ディレクター大賞、坂田記念ジャーナリズム賞グランプリなどを受賞。今回の映画のもとになるDVD『9条を抱きしめて』も制作した。

■自主上映のご案内

上映会用媒体の貸し出しは無償です。作品を観た方に「支援金」を募っていただく寄付制となっております。数名の小さな上映会も可能です。【お問い合わせ先】 allennelson2025@gmail.com

■ご支援のお願い

映画「アレン・ネルソン」は、皆さまの寄付によって成り立っています。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※振込先 ゆうちょ銀行

口座記号番号：00960-6-327031 口座名称：阿部 裕一（アベ ユウイチ）